

令和元年度プロポーザル業務実績

公募形式	総合評価落札方式	総合評価落札方式
業務名	森林生態系多様性基礎調査事業(第13調査区(四国地区))(第5期)	令和元年度白山山系・越美山地緑の回廊モニタリング調査等委託事業
発注先	林野庁	近畿中国森林管理局
事業目的 及び 業務概要	<p>事業実施の目的</p> <p>生物多様性の保全・利用、地球温暖化の防止(森林吸収源対策)等、持続可能な森林経営に向けた我が国の国際的な責務の推進の基盤的な資料となる森林情報の的確な把握を推進するため、基礎的な立木調査に加え、森林簿では得られない情報(下層植生、枯損木、倒木等)を調査事項に含むシステムティックサンプリング方式の定点観測や、特定の調査目的(河畔林等)に適合する森林の抽出による森林調査を実施することを目的とする。</p>	<p>事業実施の目的</p> <p>緑の回廊の目的とする機能を維持・増進していくためには、緑の回廊における森林の状態や野生動物の利用状況などを把握し、これを基にして効果的な森林施業や森林被害対策を検討・実施する順応的管理を行うことが重要である。</p> <p>本事業は、順応的管理の実施に向け、白山山系緑の回廊及び越美山地緑の回廊においてモニタリング調査を実施し、これまでの調査結果と合わせて、それぞれの緑の回廊の状況を明らかにするための調査データの分析等を行うとともに、緑の回廊ごとに目的とする機能を評価するための「基準・指標」及び「調査項目・調査方法」の案の作成、「調査報告書」を取りまとめることを目的とする。</p>
	<p>事業の概要</p> <p>個別に土地所有者に立ち入り許可を得ると共に、調査はマニュアルに基づき、GPSにより継続調査地点に到達し、プロットの設定を行い前回調査結果を参考に立木調査、標準木調査、立木位置図、林分構成、植被率、伐根、下層植生および土壌侵食調査等を行った。</p>	<p>事業の概要</p> <p>白山山系緑の回廊:ブナクラス3箇所、植林地2箇所 越美山地緑の回廊:ブナクラス3箇所、植林地2箇所 各調査箇所において、森林概況調査、森林調査(高木層等調査、草本層植生調査、結実状況アンケート法)、動物調査(自動撮影調査、フィールドサイン調査、糞塊調査、鳥類調査)を実施する。</p>
契約金額	85,320,000円(消費税及び地方消費税を含む) 後に契約変更あり	7,117,000円(消費税及び地方消費税を含む)
担当技術者	吉田 兎南 資格一生物分類技能検定(植物2級)	山崎 直 資格一鳥獣保護管理調査コーディネーター
管理技術者	澤 純一 資格一技術士 建設部門(建設環境)・森林部門(森林環境)	澤 純一 資格一技術士 森林部門(森林環境)
その他		<p>評価委員会の開催</p> <p>伊巻 和貴:森林総合研究所 林木育種センター 関西育種場長 大平 辰朗:森林総合研究所 関西支所長 長島 啓子:京都府立大学大学院 准教授 深町 加津枝:京都大学大学院 准教授 藤木 大介:兵庫県立大学 准教授 兵庫県森林動物研究センター 主任研究員</p>